

沼田町文化財探訪

生涯
学習

ゆめつくる

沼田町を人に自慢するとき何を紹介しますか。雪やほたる、夜高あんどん祭りのことが真っ先に思い浮かび、文化財のことを思い浮かべる人は多くないように思います。

今回は、沼田町が誇るべき文化財は「こんなにある！」ということを紹介します。
※文化財＝歴史的・文化的価値をもち、保護の対象とされるものです。
※この記事に関するお問い合わせは、沼田町教育委員会（35-2132：松井）まで。

えきてい 本願寺駅通 ：北竜第 1

明治 27 年に建てられ、札幌や旭川と留萌を結ぶ交通の要所として栄えました。駅通は現在でいうところの「駅、宿、郵便局」の役割をしていました。当時の姿を残している 2 階建ての駅通は大変珍しく、現在北海道指定文化財として登録されています。



クラウド 15 号蒸気機関車 ：幌新温泉ほたる館向かい

小さいながらも重量感のある黒いボディを誇示するこの SL は、石炭の運搬に活躍した力持ち。現存する小



型蒸気機関車では、日本最古のものです。

明治 22 年にドイツで造られ、旧国鉄などを経て、沼田町の昭和炭鉱で活躍しました。昭和 44 年の閉山に伴い町に寄贈されました。

現在も、晴れた日は、運転席に乗ることができ、当時の勇姿を感じることができます。

十一面薬師観音菩薩像 ：恵比島第 1

永徳寺の本殿に安置されているこの菩薩像は、今から約 400 年前の江戸時代初期の作とされており、富山県氷見郡（ひみぐん）女良（めら）村の故・高木与左右エ門家から人づてに永徳寺に伝わり、開拓者の支えになったといわれます。その小さな像を拝観していると、開拓者の苦勞と信仰の厚さが偲ばれるようです。



沼田動物化石包含層 ：幌新太刀別川

沼田町は「タカハシホタテ」化石をはじめとする化石の産地です。また、各時代の地層が順序良く分布し、発見される化石によって地球の歴史



や生物の進化を学ぶことができます。この化石が出る地層全体が沼田町指定文化財として登録されています。

本願寺越中獅子舞 ：北竜第 1



この獅子頭は、現在の北竜に開拓の鍬を振った人々が五穀豊穡、悪魔退散、安全を願い、明治 34 年に富山県砺波郡（となみぐん）青島（あおしま）村より買い求め、今日まで受け継いできました。

「沼田は一日にしてならず」今の沼田町を形作る上で欠かせない文化財、この機会にぜひご覧ください。